



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年1月28日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 タカキタ
 コード番号 6325 URL http://www.takakita-net.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 充生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 沖 篤義 TEL 0595-63-3111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,702	△5.2	222	△34.5	247	△32.3	160	△31.0
2020年3月期第3四半期	4,960	△10.2	340	△31.6	366	△31.2	232	△34.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	13.90	13.79
2020年3月期第3四半期	20.18	20.03

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,931	6,421	80.4
2020年3月期	7,697	6,217	80.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期6,376百万円 2020年3月期6,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	5.00	-	5.00	10.00
2021年3月期	-	5.00	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	△9.8	156	△58.8	186	△55.8	120	△54.3	10.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	14,000,000株	2020年3月期	14,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,451,205株	2020年3月期	2,471,074株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	11,540,886株	2020年3月期3Q	11,528,926株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、経済活動が停滞し極めて厳しい状況が続く中、一時的な持ち直しの動きがあったものの、感染再拡大の影響もあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような情勢のもと、農業機械事業におきましては、新型の牧草梱包作業機や肥料散布機等の市場投入効果に加え、農業従事者を対象とした政府による経営継続補助金^{*1}の後押しもあり、土づくり関連作業機を中心とした小型製品の受注が伸張したことにより、10月以降の売上高は前年同期を上回りました。しかしながら、累計期間においては、畜産クラスター事業^{*2}による導入の遅れが続く中、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国産農産物の消費低迷等に伴う農業従事者の機械投資意欲の減退や、国外における営業活動縮減の影響を受けて、エサづくり関連作業機等の受注減少もあり、農業機械事業全体の売上高は前年同期比1億70百万円減少し43億59百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

軸受事業におきましても、産業界全体の設備投資が低調に推移したことにより、売上高は前年同期比87百万円減少し3億42百万円（前年同期比20.4%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期比2億58百万円減少し47億2百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

利益面におきましては、原価低減活動に努めましたものの、売上高の減少に加え、減価償却費や人件費の増加等の影響もあり、営業利益は前年同期比1億17百万円減少し2億22百万円（前年同期比34.5%減）、経常利益は前年同期比1億18百万円減少し2億47百万円（前年同期比32.3%減）、そして四半期純利益は前年同期比72百万円減少し1億60百万円（前年同期比31.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ2億34百万円増加し、79億31百万円となりました。これは主に電子記録債権が6億58百万円、投資有価証券が2億13百万円それぞれ増加し、現金及び預金が3億14百万円、受取手形及び売掛金が3億57百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ29百万円増加し、15億10百万円となりました。これは主に電子記録債務が1億64百万円、支払手形及び買掛金が62百万円それぞれ増加し、賞与引当金が66百万円、未払法人税等が61百万円それぞれ減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ2億4百万円増加し、64億21百万円となりました。これは主に利益剰余金が45百万円、その他有価証券評価差額金が1億48百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年10月29日に発表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

*1 経営継続補助金…政府による農林漁業者を対象とした新型コロナウイルス感染症の影響を克服するための経営継続に向けた補正予算事業

*2 畜産クラスター事業…政府による畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	851,558	536,657
受取手形及び売掛金	1,006,944	649,200
電子記録債権	556,240	1,214,467
商品及び製品	856,033	781,996
仕掛品	140,592	136,152
原材料及び貯蔵品	355,145	313,431
未収入金	488,536	680,696
その他	10,821	43,618
流動資産合計	4,265,872	4,356,220
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	985,787	1,063,674
機械及び装置(純額)	449,430	405,196
土地	562,248	562,140
その他(純額)	190,307	167,385
有形固定資産合計	2,187,775	2,198,397
無形固定資産	135,004	138,598
投資その他の資産		
投資有価証券	659,755	873,513
その他	450,206	365,967
貸倒引当金	△766	△816
投資その他の資産合計	1,109,196	1,238,665
固定資産合計	3,431,976	3,575,661
資産合計	7,697,849	7,931,882
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	189,447	252,147
電子記録債務	323,231	487,981
短期借入金	70,000	70,000
未払法人税等	61,995	—
賞与引当金	99,965	33,947
その他	400,907	354,592
流動負債合計	1,145,546	1,198,667
固定負債		
退職給付引当金	314,355	270,826
役員退職慰労引当金	6,340	4,700
その他	14,296	36,286
固定負債合計	334,991	311,813
負債合計	1,480,538	1,510,480

（単位：千円）

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,350,000	1,350,000
資本剰余金	825,877	830,032
利益剰余金	4,402,581	4,447,637
自己株式	△617,636	△612,725
株主資本合計	5,960,822	6,014,944
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	213,444	361,493
繰延ヘッジ損益	△71	△17
評価・換算差額等合計	213,372	361,476
新株予約権	43,116	44,981
純資産合計	6,217,311	6,421,402
負債純資産合計	7,697,849	7,931,882

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
売上高	4,960,556	4,702,031
売上原価	3,409,367	3,292,149
売上総利益	1,551,188	1,409,882
販売費及び一般管理費	1,211,014	1,187,096
営業利益	340,174	222,786
営業外収益		
受取利息	20	6
受取配当金	9,844	10,097
不動産賃貸料	17,672	17,439
その他	9,572	4,283
営業外収益合計	37,109	31,826
営業外費用		
支払利息	246	181
不動産賃貸原価	3,959	3,751
売上割引	2,412	2,694
リース解約損	3,842	—
その他	515	175
営業外費用合計	10,974	6,802
経常利益	366,308	247,810
特別利益		
固定資産売却益	69	8
特別利益合計	69	8
特別損失		
固定資産廃棄損	91	14
投資有価証券評価損	9,692	854
その他	—	0
特別損失合計	9,783	869
税引前四半期純利益	356,594	246,949
法人税、住民税及び事業税	84,479	36,515
法人税等調整額	39,435	49,989
法人税等合計	123,915	86,505
四半期純利益	232,679	160,444

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自2019年4月1日 至2019年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	農業機械事業	軸受事業			
売上高	4,530,723	429,833	4,960,556	—	4,960,556
セグメント利益	295,253	31,378	326,631	13,542	340,174

(注) 1. セグメント利益の調整額は、鉄屑等のスクラップ売却代であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間（自2020年4月1日 至2020年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	農業機械事業	軸受事業			
売上高	4,359,985	342,046	4,702,031	—	4,702,031
セグメント利益 又は損失 (△)	237,301	△24,698	212,603	10,182	222,786

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、鉄屑等のスクラップ売却代であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。